

# 長期総合計画の体系

## 21世紀の主要課題

豊かさを実感できるまちづくり

高齢・少子社会の活力の確保

ネットワーク型社会への対応・高度情報化

成長制約下の地域産業の再構築

新たな視点での社会資本整備

まちづくりの基本理念  
健康で生きがいのある  
市民の暮らしの実現

将来像  
**自然と都市の  
融合するまち都留**

## まちづくりの重点目標

豊かな自然の中で  
ゆとりある暮らしを創る

都市の厚みと  
広がりを創る

内外からにぎわいの  
交流を創る

## 施策の体系

- 1 健康でいきいきと暮らせる長寿の地域社会
- 2 自己実現を支援する文化・学習・スポーツ
- 3 新しい時代を支える社会基盤
- 4 時代の変化に即した地域産業の振興
- 5 快適な自然と共生するゆとりの生活環境
- 6 交流をさかんにするネットワーク
- 7 新しい時代を創る多彩な市民

New Century Plan TSURU

# 新世紀プラン 都留



# 健康でいきいきと暮らせる 長寿の地域社会

**健康が光る。  
楽しく年を重ねる。**

都留市では、健康をまちづくりの柱の一つと位置づけ、市民参加で快適な健康文化都市をめざしています。具体的には、ひと・まち・自然いきいき「ウェルネス・アクションつる」にもとづき、「健康のまち行動計画」を策定しました。このなかで子どもから高齢者まで、市民だれもが健康で幸せな暮らしを実感できるよう、総合的、長期的、計画的にさまざまな事業を展開しています。

こうした市民と行政が一体となった取り組みが進むなか、「健康」についての意識はかなり市民に根づいてきており、生活習慣病総合検診や、花の実年検診（人間ドック）などを積極的に利用する人も増えつつあります。

立病院と、医療ケアやリハビリを必要とする高齢者のための老人保健施設「つる」がオープンしました。これにより、市内に必要な高度医療や救急医療が受けられるようになったほか、退院した高齢者の家庭復帰をバックアップする体制が整いました。さらに市立病院については、現在の診療科目10科に、新たに産婦人科、耳鼻咽喉科を増設するための新病棟建築も進んでいます。

また、建設中の「保健福祉センター」が完成すれば、保健・福祉・医療の連携のもと、病気の予防から早期発見・早期治療、退院後のリハビリや医療ケア、介護福祉サービスなど一貫した行政サービスが実現することになります。

いっぽうで、こうした行政サービスとともに在宅介護に欠かせないのが、市民によるボランティア活動です。都留には昔から隣り近所が助け合ってきた歴史があり、その精神が今では「ボランティア」と名前を変えて、社会福祉協議会のボランティア活動で発揮されています。夏休みを利用した小中学生のためのボランティア講座やボランティア入門スクールなども開かれ、毎回多くの市民が参加しています。

しかし、病気になって介護が必要になった場合、家族の負担は深刻なものがあります。そこで、12年4月からスタートする「介護保険制度」では、保険料と国・県・市町村の予算を財源とし、市町村や民間の事業者が居宅サービスや施設サービスを提供するかたちで、急増する介護需要に応えようとしています。都留市では、この介護保険法の施行にさきがけ、すでにホームヘルプサービスを午前7時から午後9時までに拡大、さらに24時間サービス体制を計画中で、介護を受ける側に立ったサービスの充実につとめています。

## 行政と市民 ボランティアで支える在宅介護

平成2年に最新の医療機器を備えた市



ボランティア給食



市立病院



保健福祉センター完成予想図



老人保健施設「つる」

In 1990, a municipal hospital equipped with advanced medical equipment was completed in Tsuru, and a supplementary facility for elderly health care, "Tsuru," opened its doors to senior citizens needing medical care and rehabilitation. As a result, high-level medical care and emergency care are now available in the city, and a support system is provided to seniors returning to home life from the hospital.

# 自己実現を支援する 文化・学習・スポーツ

子どもたちが元気で  
楽しい日々を過ごすために

けやき並木を抜けてレンガ色の校舎が目に入ってくると、そこはもう都留文科大。緑のキャンパスは授業の合間に集う学生の姿でいつも賑わっています。都留市は昔から教育熱心な土地柄で、市立の4年制大学「都留文科大」はそのシンボルともいえるものです。

こうした恵まれた環境のなかで、このまちの子どもたちは幼稚園や保育所を経て小中学校に進み、知識を身につけ、遊びを通して友情を育みながら日々成長しています。学校では、年少少女発明クラブ（谷村一小）や総合学習（都留一中）、環境学習（都留一中）など、子どもたちの好奇心を学習意欲に結びつける指導をすすめているほか、いっぽうで子どもたちが孤立しない

ために、教育研修センター内に「相談員」を配置し、教育相談などを行っています。

また、学校以外にも、アウトドア体験を通してたくましい子どもを育む「のびのび自然塾」やボランティアスクール、ジュニアオーケストラ、地域の祭りなど、子どもたちが学校とは違う場面で学ぶ機会がたくさんあり、多くの子どもたちが参加しています。

## 多彩な文化施設を 生涯学習に活用

一般的に会社に入れば研修があるように、学校を卒業した後の長い人生において、大人たちにとっても「学習」は必要です。都留市では「のびのび・いきいき・まなびのまちづくり」をスローガンに、いくつになっても学べる環境づくりを中心

に市民の生涯学習をサポートしています。

実際には、まなびのまちづくりの中核施設「ミュージアム都留」を拠点に、市内に点在する寺社などの歴史的建造物や、都留市商家資料館、増田誠美術館、尾県郷土資料館、いきものふれあいの里などの各施設と連携を図り、市内全域を「まるごと博物館」として位置づけていきます。すでに市民に親しまれている「うぐいすホール」をはじめ歴史・美術・自然体験・音楽など、感性を育む環境は整いつつあります。

また、25万冊の蔵書を誇る大学の図書館を利用できるのも都留市ならでは。大学附属図書館は、今後さらに若者を惹きつけ、市民にも魅力のある「メディアセンター的な図書館」として平成15年をめどに生まれ変わる予定です。いっぽう、公開講座や大学祭「桂川祭」などの交流などにも力を入れ、市民に開かれた大学をめざしています。

写真

男の料理教室（ヤンミースクール）

写真

パソコンを使っている授業（都留二中）

写真

An enthusiasm for education has characterized Tsuru since olden times. Today, students from throughout Japan gather at the city's four-year Tsuru University. At Tsuru's elementary and junior high schools, instruction is designed to foster children's curiosity and eagerness to learn. Adults actively employ the community center, cultural hall, and a museum that opened in 1999 to enrich their education and familiarity with culture.



都留文科大

大学図書館

写真

写真

少年野球教室

# 新しい時代を支える社会基盤

## 快適な交流空間の実現

富士山を望む自然に恵まれた景観を備え、さらに甲府や都心にも気軽に足を伸ばせる便利な交通アクセスを誇る都留市ですが、道路についてはより一層の整備が必要です。

平成10年5月には、桂高校前から川茂橋手前までの街路四日市場古川渡線が開通して、市街地形成の促進が図られ、同時に生徒たちが安心して通学できるよう、両側に街路樹が植えられた歩道も設置されました。主要地方道都留道志線の鍛冶屋坂トンネルについても、危険な状態を解消するために現在のトンネル脇に新たにトンネルを整備する事業が動き始めています。

このほかにも、中央自動車道のフルインターチェンジ化及び交通量の多い古川

渡地区の国道139号の拡幅、都留バイパスの早期完成、さらに快適な生活環境づくりとして大学周辺への新駅設置を含めた土地画整理事業の準備が進められ、街の活性化が期待されています。

## 自然と歴史、文化を活かして創る「都留市らしさ」

全面積の85%が山地である都留市では、森林と自然を守りながら豊かなまちづくりを進めています。既に、菅野川の清流に沿った地域に位置するサントウン玉川、職住接近タイプのサントウン平栗、輸入住宅や省エネ住宅のモデルハウスが並ぶサントウン宝などの住宅地が生まれています。15カ所ある市営住宅については建て替えや新築を行い、良好な住宅及び住環境を提供していきます。

このほか公園の整備、河川改修事業も順次進めるとともに、「都留市景観ガイドプラン」にもとづいた景観への配慮や自然にやさしいまちづくりの一環として、木守人事業による紅葉の里づくり、桜の里親事業による桜並木の整備などを進め、かけがえのない自然を大切に保全・活用することによって「都留市らしさ」を活かした景観づくりを展開しています。

また、施設等の整備については、環境を損なわない施工方法の採用や雨水すや浸透性舗装の推進など資源の有効利用にもつとめています。

富士見坂公園



田原団地



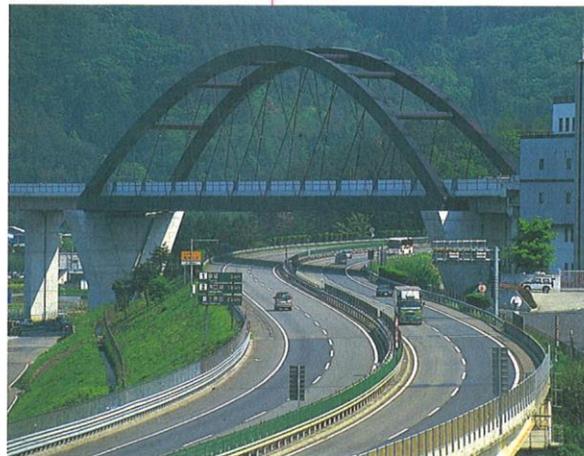
サントウン玉川

Blessed with natural beauty, conveniently served by the Chuo Highway and Route 139, and located within 80 kilometers of central Tokyo, Tsuru is pursuing its potential as a comfortable living environment among forests and water. While preparing its roads and parks and improving its rivers, the city also places an emphasis on scenic planning that values Tsuru's natural, historical, and cultural assets.

街路四日市場古川渡線



天神通り線



リニアが交差する中央自動車道

## 写真

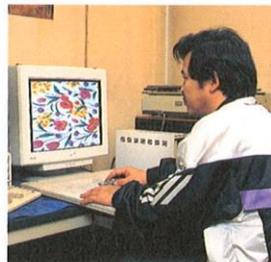
# 時代の変化に即した 地域産業の振興

伝統産業の「甲州織」と  
エレクトロニクス産業

300年の歴史をもつ甲州織の中心地・都留市は、明治の初めには全国の70%を生産した一大産地でした。この伝統と技術は現在に受け継がれ、「甲州織どんす地」は、日本古来の文様を現代風にアレンジした豪華な婚礼堂具として全国で愛用されています。しかし、基幹産業であり続けた織物業界にも安い外国製品の輸入による競争の激化、価格の暴落などの変化は容赦なく、かつてどの家からも聞こえていた織機の音は消えていきました。現在ではコンピュータが導入され、大規模化、無人化、スピードアップが図られた工場で織物が量産されています。昭和40年代に入ると、優良工業・企業の誘致策が積極的に行われた結果、平成

9年現在で事業所数256、製造品出荷額等は約743億円、従業者数4,421人と、東部圏域では最大級の規模となっています。出荷額等では金属、一般機械、電気機械などのエレクトロニクス産業の3種で6割近くを占めています。こうした業種においても円高や生産拠点の海外への移転、長引く不況等により、経営の厳しさは深刻さを増しているのが現状です。

織物業界もコンピュータ化



伝統の織物業



ハイテク工場

魅力的な商業・農業、  
観光シーンの演出

商業については、消費者ニーズの多様化や車社会の進展、大型店の出店、後継者問題など、依然として厳しい状況が続いています。市でも市街地の活性化に力を入れており、県の「商店街イメージアップ事業」の一環として栄町の商店街で街灯を外して道路を広げて買い物しやすくしたほか、「リーディング商店街創出モデル事業」を取り入れて積極的に活性化を図ろうとしています。

農業においても高齢化、後継者不足は深刻で、農作業の省力化、付加価値の高い農産物の栽培等が問題解決の糸口と考えられます。実際、農業活性化事業を実施し、農家収入の増加による農業経営の



特産のこんにゃくづくり



都留文科大学近くの商店



グラススキー



安定、遊休農地の解消を図るなど魅力ある農業の転換を推進しています。

また、今後は都心に近く、自然に恵まれているという立地条件を生かして地域の産業と一体化した観光施設づくりを進めていきます。グラススキーが楽しめる「サンパーク都留」や高川山へのハイキングコース、溪流釣りの人気スポット鹿留渓谷などのほかに、城下町としての特色を活かした景観整備なども行う計画です。

オートキャンプ場



In the past, Tsuru prospered as a production region for Koshu fabrics, a traditional textile with a 300-year history. Today, the city is focused on the engineering metal-working industry, an industry that has grown rapidly since the late sixties, and which now accounts for 60% of the city's shipments. Commerce in Tsuru revolves around food products and daily necessities, and the city is also attracting attention as a vacation land of scenic beauty near the metropolis, offering mountain stream fishing, camping, and hiking.



# 快適な自然と共生する ゆとりの生活環境

住みよさは  
自分たちの手で創るもの

地球温暖化、環境汚染、廃棄物の増大などの環境問題は、人間が快適な生活を追求した結果招いた事態にほかなりません。そこで、「循環型社会」を実現するため、市では、人・まち・自然にやさしい「グリーンアクションつる」プランを策定し、より具体的な取り組みを始めています。

このプランでは、市民・地域・企業・行政が連携を取り合って環境保全に取り組み実効的行動が盛り込まれ、市も自らが事業者・消費者であることの認識に立ち、「都留市環境保全行動計画」を新たに策定しました。具体的には、グリーン購入の推進・グリーンスタッフ制度の導入・グリーンランナー（クリーンエネルギー）

ギー自動車）の購入などを積極的に進め、環境への負荷の低減につとめています。また、水質浄化に欠かせない下水道事業については、桂川流域下水道事業にもとづき、平成3年度に公共下水道基本計画を策定し、平成7年度より着手し一部供用開始をめざして工事が進められています。

整備された河川と歩道



資源ごみの分別収集

写真



## 阪神・淡路大震災から学ぶ

防災面からいうと、桂川をはじめとする多くの河川と1,000メートルを超える急峻な山々が入り組む都留市では、山崩れ等の危険箇所が多く、これまで砂防指定・保安林指定を行った上で、急傾斜地崩壊対策などを講じてきました。また、東海地震や南関東直下型地震に備えて、阪神・淡路大震災の教訓を活かした地域防災計画の見直しも行っており、平成9年3月には、災害時等における初動体制から迅速な対応がとれるよう職員防災マニュアルを作成、同年8月には自主防災会長に自主防災会マニュアルを配布しています。とくに災害時に市民が果たす役割を重視し、自主防災組織単位での防災資機材の整備や日頃の訓練には、より一層力を入れていく考えです。

Even in Tsuru, urbanization and the pursuit of comfortable living has caused harm to the natural environment. To halt the corruption of its rivers, the city is giving priority to sewage installation projects, and also enlists the cooperation of its citizens in recycling and reducing garbage volumes. For the public safety, measure are taken to prevent landslides, while drills are held and stores of food and equipment are maintained in preparation for earthquakes.

写真

市民参加の防災訓練



# 交流をさかんにする ネットワーク

交流が作りだす  
魅力的な文化都市

まわりを山に囲まれた都留市ですが、人と人との交流の道が北は北海道、南は沖縄、遠くは海を越えたアメリカ合衆国にまでつながっています。

テネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市の提携を結んだのは昭和58年。以来、都留市からは、青年会議所、市民合唱団、子どもたち、そしてヘンダーソンビル市からの使節団を受け入れたホストファミリーなどが来訪し、平成3年からは高校园での定期的な交流が始まりました。ヘンダーソンビル市滞在中、訪問団はホームステイによりアメリカ人の日常的な生活を経験しながら、この町の自然を楽しむライフスタイルや人々のおおらかな心に触れることになります。観光旅行では

Although surrounded by mountains, Tsuru's citizens enjoy person-to-person exchange with people in Hokkaido, to the north, Okinawa, to the south, and farther away, the United States. In 1983, Tsuru joined Hendersonville, Tennessee in a sister city affiliation, and numerous people have traveled between our cities in the years since. In 1991, a high school student exchange program was launched to foster international understanding among our youth.

ヘンダーソンビル市使節団との交流

写真

## 情報化が変える都留市の未来

地域情報化の推進は、地域間の情報格差の是正や地域振興の新しい手段として注目されています。都留市においても平成11年4月にインターネットを開設し、行政に対する意見要望をメールにより募集するなど、個性あるまちづくりや地域活性化に住民の意見を効果的に活用することを検討しています。また、内部事務におけるネットワークの構築、高度情報化に対応するための委員会の設置など、行政サービスの向上を図るとともに高度情報化社会に対応できるインフラづくりを進めていきます。

写真

のびのび自然塾

得られないこの貴重な体験を積み重ねることが着実に国際化につながるといったのが都留市の考える国際交流です。

いっぽう地域交流も盛んで、昭和62年に国民体育大会の開催を契機に沖縄県西原町との交流が始まり、平成4年には本市出身の増田誠画伯が青年期を過ごした北海道釧路市と友好都市の提携を行ったほか、奈良県大和高田市と災害援助協定の締結、東京都板橋区との交流など各地域との親交が深まっています。

写真

桂高校で

写真

写真

# 新しい時代を創る 多彩な市民

いま、地域活動がおもしろい

より暮らしやすいまちづくりを行うためには、行政だけが一方的に考えるのではなく住民の声を汲み上げ、さらに一歩進めて住民自身が行動して実現させていくことが大切です。現在、都留市では市民が主役のまちづくりを実践するため、平成10年度より市民委員会制度を設け、市民の意見を施策に反映しています。

また地域ごとに組織されている自治会や老人クラブなどを中心に、地域自治活動や祭りなどの活動を行っています。近年は、自治会活動のほかに、各種団体グループによる地域づくり活動も盛んに行われています。

「コミュニティ」「ボランティア」という言葉も定着し、地域活動に参加することで改めてふるさとを再認識し、昔ながらの温かい人情を基盤に新しいまちづくりを進

めていこうという人が増えているのです。市をあげて行われる「八朔祭」、ヘンダーソンビル市との交流事業、「都留市ふれあい全国俳句大会」などでも、市民が裏方としてイベントを支えています。平成11年オープンした「ミュージアム都留」では、60人を超える市民による博物館ボランティアが運営面にとどまらず、企画立案、調査などにも参加する予定で、市民参加型の博物館として期待が集まっています。

このように一人一人がもてる個性、能力を発揮し、あらゆる分野に参画するためにも、また男女がよりよいパートナーシップを築くためにも、男女共同参加の社会を実現することが必要であり、都留市では女性プランを策定して取り組んでいます。

自主防災活動



フリーマーケット

Community clubs and senior citizen clubs organized on a district basis undertake district self-governing activities and annual festivals. Recent years have also seen the emergence of groups working for the community in such fields as environmental protection, elderly care, recycling, tree-planting, and maintaining the traditional performing arts.

八朔祭

写真

ボランティア給食のグループ

写真

都留市ふれあい全国俳句大会



博物館ボランティア

写真

写真

写真